

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」富士宮校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 5日		～ R6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R6年 11月 18日		～ R6年 12月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員一人一人の強みが違うため、幅広く各状況に対して対応ができること。	「進路指導」「支援級の先生」「学童」「保育園」「発達」「心理」等経験をしている職員がいて、それぞれの視点において支援内容へ意見を提示し検討する機会をほぼ毎日持っているため、利用者様の状況の変化により柔軟に対応することができる。	職員同士の連携がとりやすくなるよう、事業所内の雰囲気をもっと良い形へと変化させていく。
2	個別療育が基本であるため、本人の状態に合わせたオーダーメイドの支援を提供することができる。	利用者様ごとの「支援計画」「支援内容」を作成、検討していくため、個々の状態に合わせた支援内容を提供することができる。保護者様や利用者様との面談・話し合いを通して根本的に支援が必要となる部分がどこなのか、負担をかけすぎない内容となっているか等検討を続けている。	内部研修・外部研修を通してより良い視点・支援プログラムを獲得できる機会を継続して持ち続けていく。
3	保護者様に送迎いただいたのご利用となるため、ほぼ毎回支援内容のブラッシュアップや情報共有を行うことができる。	毎回送迎頂いた際に支援の様子や内容の共有を行っている。そこから新たな視点での支援内容の提案や利用者様や保護者様を取り巻く環境や心情の変化を把握させていただき、状況に合わせた対応を検討・実施を心がけている。	保護者様や利用者様と良い形で信頼関係を継続・構築していくことができるよう職員一同真摯に向き合い、対応させていただく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の広い支援室を十分に活用できていないこと。	支援室内の物が多く整備が必要である。整備することでよりスペースを広く活用することができ、より快適な環境を整えることができるのではと考えている。	環境整備のための時間を明確に設定し、話し合いを積み重ねながらより良い支援を行うことができる環境整備を積極的に進めていく。
2	地域との連携が弱いこと。	自立支援協議会へは積極的に参加することができており、他事業所や相談支援事業所とのやりとりも増えてきてはいるものの、まだまだ足りないと感じる部分がある。支援の状況や業務内容に追われ対応しきれっていない。	他機関への訪問回数を増やし、警察や消防、救急とも連携する機会を持つことでより地域との連携を深く持つことができるよう改善を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」富士宮校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 55

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	2			広い部屋でのびのび支援をしてもらっています。	引き続き安心して活動していただけるよう環境づくりに配慮をしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	2		2		
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	6		3	整った環境だと思います。	より特性に応じた臨機応変な対応ができるよう事業内設備の充実化を目指していきます。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31			1	自分の子どもだけでなく他のお子さんも活動に合わせた空間になっていると思います。	今後も個々に合った支援環境を整え、心地よい空間を提供していただけるように努めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31			1	無理せず丁寧な支援をしてもらっています。	引き続きお子様に寄り添った支援を心がけていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			2		
	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32				計画があっても途中で取り入れてほしいことなどすぐに対応してもらえて助かります。	都度ご相談いただきありがとうございます。お子さまの状況に合わせた臨機応変な対応を心がけていきます。
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	3		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	3	10	12		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32				変更等があった時は都度説明を受けています。	今後も変更等合った際には丁寧な説明を心掛けていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	3	8	今日何をやったのか、毎回教室へ入り見せてもらうことでわかりやすくなりました。	支援の様子を保護者様に見学いただくことで、よりよい支援を提供させていただくことができいております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	30	2			悩んでいる、困っている時に励みになるような言葉を声掛けをしてもらっています。	大切なお子さまのお悩みをご相談いただきありがとうございます。今後ご相談しやすい環境作りに配慮していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2			子どもの良いところ、成長している部分をたくさん言葉にしてもらっています。	お子さまの成長を保護者様と一緒に共有させていただけること大変嬉しく思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	4	3	14		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31				1	個別支援計画以外でも都度対応したもらえて助かります。	今後も迅速に対応をさせていただけるよう尽力していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1			いつも相談しやすい環境で助かっています。	相談しやすい環境づくりに配慮をして、保護者様と密な情報共有をしていけるように努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	2	4	ブログ掲示（プリント）されているのが良いです。読むの楽しみにしています。	ご覧いただきありがとうございます。事業所内の様子をInstagramでも発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30			2	訓練の様子が掲示（プリント）されていてわかりやすいです。	今後も訓練の様子を掲示し、参加されていない方にも様子が伝わるような掲示内容に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			5	行われた内容がわかりやすく掲示（プリント）されていて良いです。	事業所でどのような訓練が行われているのかを掲示やSNSを通じて皆様へ周知していけるようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2		7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32				笑顔がみられ安心している様子が伝わってきます。	今後もお子さまの笑顔を引き出していただけるような支援を心掛けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32				とても楽しみにしています。先生達の人柄にこちらも安心して任せることができています。	継続して来所を楽しみにしていただけるよう、それぞれの様子に合わせた支援プログラムの構築に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2			子どもだけでなく親に対しても温かい言葉をありがとうございます。丁寧な支援をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。	お子さまだけでなく保護者様にも安心してご利用いただける場所であり続けられるよう職員一同努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」富士宮校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者様それぞれの特性に合わせて教室を使い分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令上必要となる人数より1名以上多く配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて持ち運びができるスロープを設置する等の対応をしている。	事業所内設備に関して可能な限り改善に取り組んでいく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎朝清掃と消毒を行い、清潔で心地よい環境づくりに努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		利用者様の特性や状況に合わせた支援室の使用ができるよう環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		支援報告を都度行い、個別目標に対して現在の支援内容が適切であるか等の確認や提案ができるような体制を整えている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員間で保護者様の意向を共有する場を設け今後の業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		都度職員間で意見交換ができる環境作りを行い業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価を受けていないため、本部と協議の上行方か検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に内部研修や外部研修の機会を設けている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			個別の内容に沿って支援プログラムを構築しているため現段階で公表はしていないが、来年度から公表をしていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者様と利用者様のニーズのヒアリングやアセスメントを適切に行った上で、計画の作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		指導員と児童発達支援管理責任者で会議を開き、共通理解のある計画作成を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画内容に沿った支援内容の構築を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを使用し、客観的なアセスメントを取ることができるように努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		左記の支援に関して個別の支援計画に盛り込んでいる。保護者様と利用者様にヒアリングを行うことで、適切な支援ができるように努めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームで都度話し合いを行い、立案をしている。様々な意見を取り入れやすい環境になっている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		利用者様の様子、ニーズ、課題について都度検討し場面に合わせて内容を変化させている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は個別療育であるが、利用者様それぞれの特性や状況に合わせて個別と集団の療育を適宜組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		最近の利用者様の様子を職員間で共有した上で支援内容について検討をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		報告会を行い情報共有に努めている。就業時間間際まで支援していた場合は翌営業日に共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を残し全体でいつでも情報共有や確認ができるシステムになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に面談、アセスメントを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			ガイドラインに沿って行っているが、地域支援に関して弱さがあるため今後検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者様の思いを大切にしながら、自己決定力を育むための声掛けや支援内容の構築に努めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者・管理者の他、担当指導員も参加する等、ふさわしい者が参加できるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と都度情報共有を行う等して、連携体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎は行っていないため、年間計画等は学校のHPや保護者様に確認をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		園や他事業所と都度情報共有を行い相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		事業所で行ったこと、計画、モニタリングについて書面にし、保護者様を通して情報共有を行っている。	移行会議があれば積極的に参加していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター等、必要に応じて助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後必要に応じて検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		開催があれば毎回参加をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回支援後に保護者様と話し合う時間を設け、共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談を受けた際は時間を設けて話し合いを行い、出来得る範囲での助言、支援を行える環境を整えている。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、変更時には都度書面にて説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と利用者様の意向を尊重し、支援を行っている。また、都度意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		毎回計画を示しながら、支援目標や内容の説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談のある際は出来得る範囲内での助言、支援を行える環境を整えている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		イベントを通して実現出来るよう、運営に努めていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付体制を整えるとともに、受付窓口を設定している。苦情をいただいた際には、迅速かつ適切に対応をしていく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所内掲示やインスタグラム、ブログ等で情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の含まれる書類等は鍵付きロッカーに保管し、取り扱いにも留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の特性に合わせた情報伝達方法を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後イベントを通して実現出来るように検討をしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定しいつでも閲覧できる状態にしている。	今後はより保護者様が閲覧しやすい設置方法を検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月様々な場面を想定し訓練を行っている。訓練後、職員間で意見交換を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者様にヒアリングを行い基本情報の更新を毎年行っている。また、都度利用者様の状況把握を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供を行っていない。契約時にアレルギーの確認を行っている。該当物質がある場合は配慮を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者様にも訓練や研修に参加していただく機会を設けている。また、安全管理のされた支援を提供している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難場所の周知や安全計画に基づいた内容を保護者様に周知をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こった際には報告書を作成、今後の運営に活かすことができるよう職員同士で共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定し研修を行っている。また、外部研修を受けた際の情報共有も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様へ説明を行っている。身体拘束について、行う必要性が出てきた場合には、検討をしていく。		